

## 屋嘉田潟原保全活動 第2弾

11月2日、恩納村地域農業振興推進連絡協議会が主催する環境保全活動が南恩納渡り座地区土地改良区で開催されました。

農家はじめ恩納村漁協や安住の郷から40名あまりが参加し、主催した同協議会の吉田兼師会長から「農業を取り巻く環境は大変厳しいものであるが、重要な湿地である屋嘉田潟原の保全に農家が主体となった取組は非常に重要である。みんなで力をあわせてがんばろう」のあいさつのあと、約56,000㎡分の排水路の草刈り・清掃、沈砂池4カ所の清掃が行われました。

あわせて、同土地改良区内のサトウキビ畑5,252㎡で赤土流出防止対策（ベチバー植栽、緑肥の種まき）も行われ、複合的な環境保全活動となりました。



## 広域地震・津波避難訓練

11月2日、沖縄県地域防災計画に基づき、大規模地震・津波の発生を想定し、避難訓練を実施しました。

訓練では、地震・津波に対する防災意識の啓発や津波避難計画等の検証を行うことにより、地震・津波災害にかかる防災体制の向上を図ることを目的としています。



## 恩納 100 むらのきおく その八十六



### デークニシリー

おろし金のことをデークニシリーと呼ぶそうです。身近な言葉でいうと大根おろしのことです。金属に2種類の大きさで穴をあけた鉄板を木の板に固定し、2方向から擦れるように作られた道具です。大根やいろんなものを擦ったと思います。料理でよくシリシリという言葉が後ろについたりしますが、擦ったという意味で使われています。今の道具とほとんど同じの形をしています。この資料は博物館第2展示室台所のコーナーでご覧いただけます。